



平成 26 年 5 月 14 日

各 位

会社名 中外鉱業株式会社
代表者名 代表取締役社長 葛山 稔
(コード番号 1491 東証二部)
問合せ先 IRセンター室長 桜庭 勲
(TEL. 03-3201-1541)

通期業績予想値と実績値との差異及び特別損失に関するお知らせ

平成 26 年 2 月 7 日に公表いたしました平成 26 年 3 月期（平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日）の通期業績予想値と本日公表の決算において、下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想値と実績値との差異について

(1) 連結通期業績予想値と実績値の差異

平成 26 年 3 月期通期（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

(金額の単位 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	13,200	△180	△250	△460	△1円 59銭
実績値 (B)	14,578	468	446	△180	△0円 62銭
増減額 (B - A)	1,378	648	696	280	—
増減率 (%)	10.4	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 3 月期)	19,556	1,502	1,485	241	0円 83銭

(2) 個別通期業績予想値と実績値との差異

平成 26 年 3 月期通期（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

(金額の単位 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	10,800	△730	△740	△770	△2円 66銭
実績値 (B)	11,524	△514	△468	△564	△1円 95銭
増減額 (B - A)	724	216	272	206	—
増減率 (%)	6.7	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 3 月期)	16,843	376	383	241	0円 83銭

2. 差異が生じた理由

貴金属取引において、金地金原料集荷量の増加に伴い、販売量が前回見込みを上回ったことに加え、東京商品取引所東京金先物の投資取引により運用益を計上したことから、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益が前回見込を上回りました。

3. 特別損失の計上及びその内容

当社は、「固定資産の減損に係る会計基準」を踏まえ、減損損失が認識された工場及び倉庫並びに事業用資産に係る資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額 162,317 千円を減損いたしました。また、店舗に係る資産についても収益性の低下等により、当該減少額 11,148 千円を減損いたしました。

この結果、特別損失として減損損失 173,465 千円を計上しております。

以 上